

NEWS RELEASE

平成20年 7月28日
国土交通省中部地方整備局

1. 件名：平成20年度「国土形成事業調整費(事業推進の部)」の中部地方整備局関連分について
2. 概要：このたび、中部地方整備局管内（岐阜県、静岡県、愛知県）において、平成20年度国土形成事業調整費(事業推進の分)(約30億3千万円)による事業実施が決定されましたのでお知らせします。
3. 配布先：中部地方整備局記者クラブ
4. 問い合わせ先：

<総括> 企画課長 阿部 俊彦 電話 052-953-8127

個別の事業内容については、以下の窓口にお問い合わせください。

<都市> 都市整備課長 中西 賢也 電話 052-953-8573

<河川> 河川計画課長 山口 達也 電話 052-953-8148
地域河川課長 大石 誠 電話 052-953-8257

<道路> 道路計画課長 天野 繁 電話 052-953-8168

広域的地域活性化基盤整備計画については、以下にお問い合わせください。

広域計画課長 梅村 博 電話 052-953-8129

平成20年度 国土形成事業調整費（事業推進の部）の概要

平成20年度の国土形成事業調整費（事業推進の部）について、
中部地方整備局管内においては、

約30億3千万円

の事業を実施いたします。

国土形成事業調整費（事業推進の部）は、都道府県が地域自立・活性化交付金を活用して実施する事業の根拠となる広域的地域活性化基盤整備計画の目標の達成の推進に資するものです。

国土形成事業調整費（事業推進の部）

（単位：百万円）

区分	直轄・補助	事業名	事業箇所	事業費	国費
都市	補助	<small>おりつくがた</small> 下津陸田地区	愛知県稲沢市	108	54
	補助	刈谷駅南地区	愛知県刈谷市	70	35
河川	直轄	<small>なんばの</small> 木曾川水系揖斐川難波野地区	岐阜県大垣市	510	340
	直轄	<small>ねこじ</small> 木曾川水系牧田川根古地地区	岐阜県養老郡養老町	135	90
	直轄	<small>わたり</small> 木曾川水系木曾川渡地区	岐阜県各務原市	150	100
	直轄	<small>ごうじま</small> 安倍川水系安倍川郷島地区	静岡県静岡市	180	120
	直轄	<small>いげだ</small> 天竜川水系天竜川池田地区	静岡県磐田市	135	90
	直轄	<small>へいさか</small> 矢作川水系矢作川平坂地区	愛知県西尾市	195	130
	直轄	<small>おおなり</small> 木曾川水系木曾川大成地区	愛知県愛西市	123	82
	直轄	<small>ごみょう</small> 木曾川水系木曾川五明地区	愛知県弥富市	360	240
	補助	木曾川水系可児川	岐阜県可児市	50	25
	補助	木曾川水系荒田川	岐阜県岐阜市	44	22
道路	直轄	<small>とよはま</small> 一般国道302号名古屋環状2号線	愛知県名古屋市	600	400
	直轄	一般国道1号静岡バイパス	静岡県静岡市	100	67
合計				3030	1930

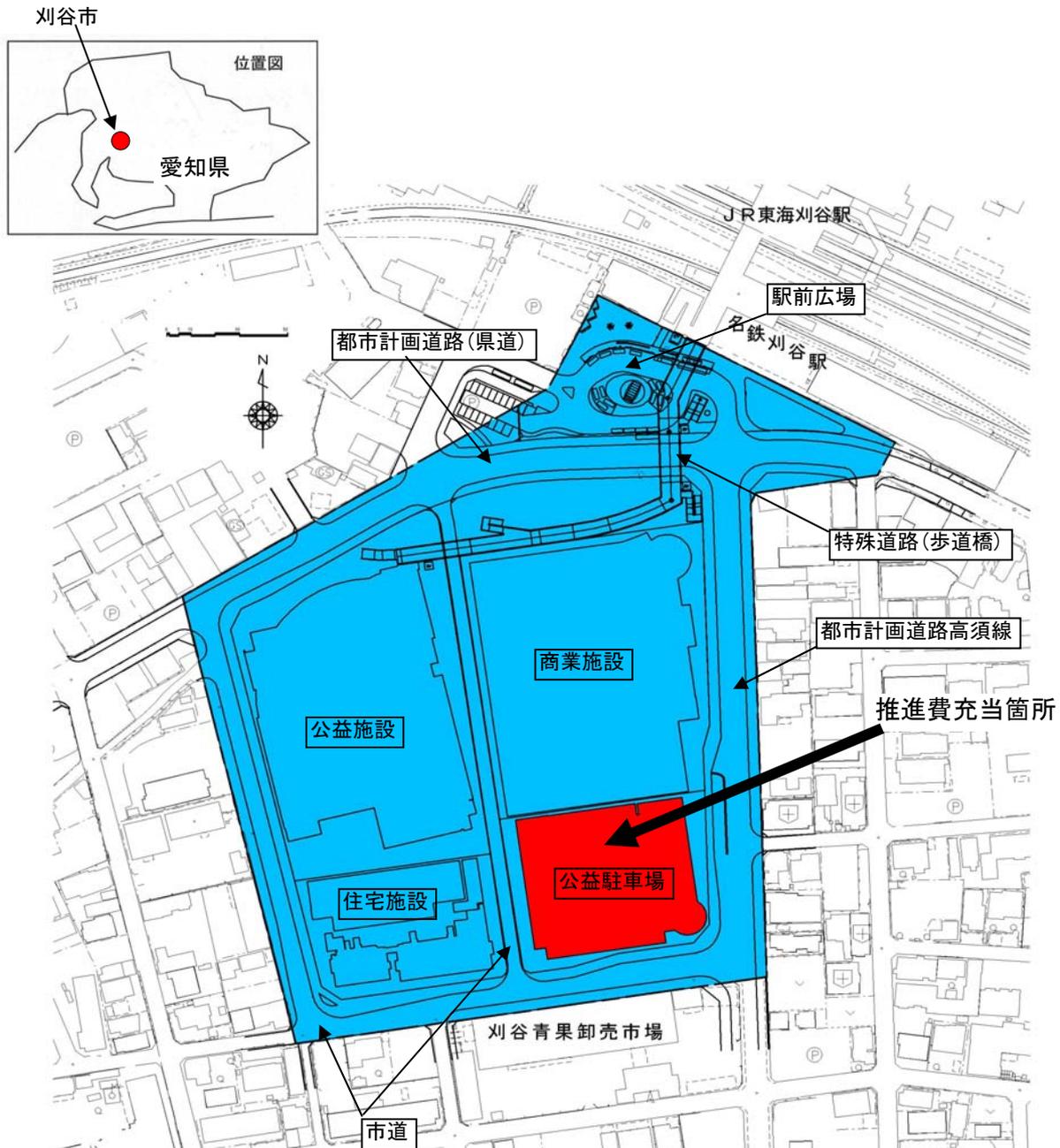
参考1) 今回、国土形成事業調整費（事業推進の部）として、全国で102件、総事業費 約144億円（中部地方整備局関連の14件を含む）が実施されています。

参考2) 今回、国土形成事業調整費（事業調整の部）として、全国で3件、総事業費 約3億円が実施されますが、中部地方整備局関連の事業はありません。

【事例①】国土形成事業調整費(事業推進の部)

広域地方計画区域において実施される全国計画に基づいて実施される事業

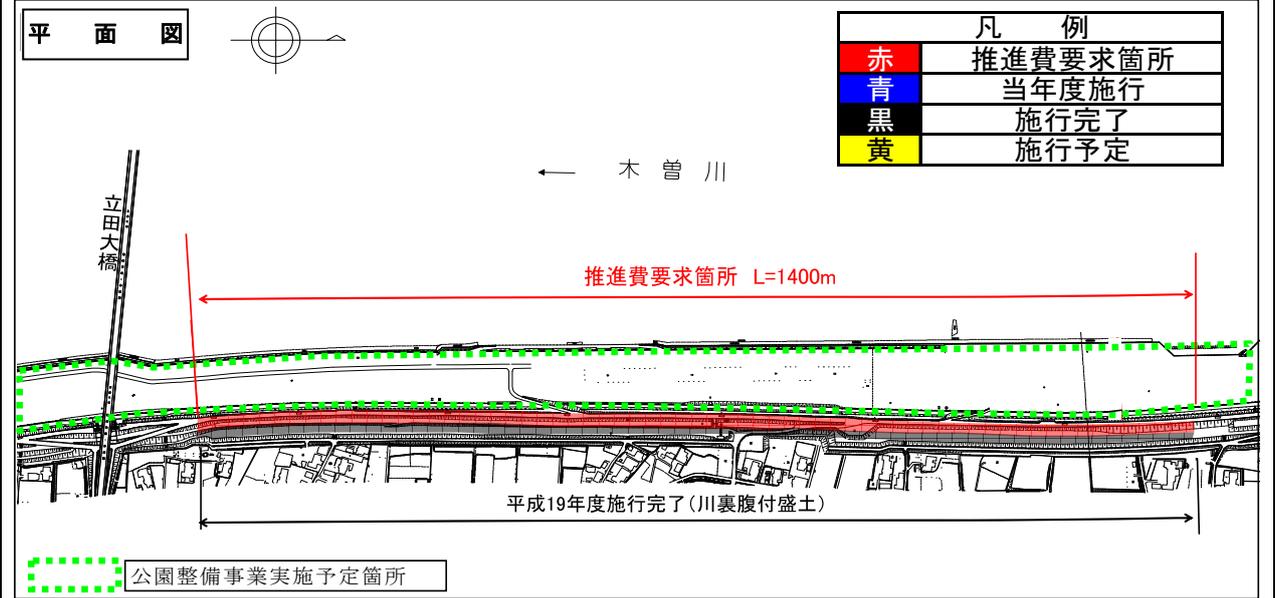
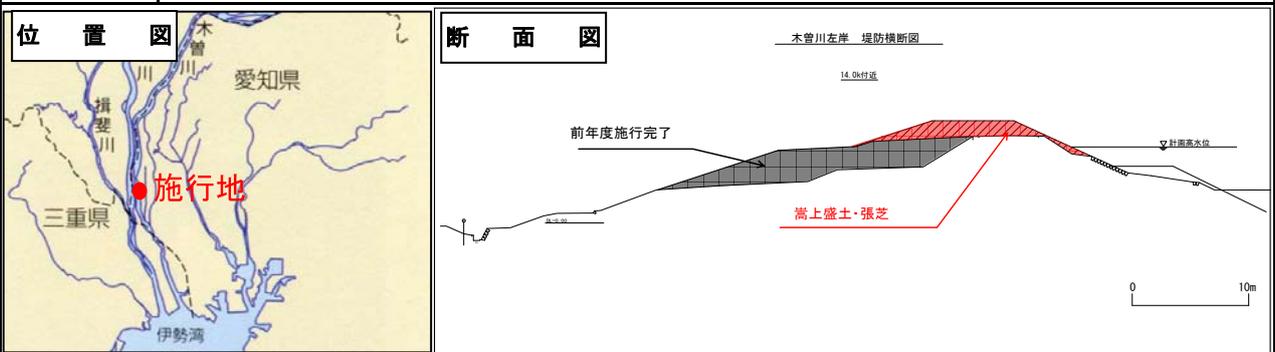
事業名	刈谷駅南地区第一種市街地再開発事業
施行地	あいちけんかりやしわかまつちょう 愛知県刈谷市若松町一丁目、二丁目、三丁目及び四丁目の各一部
事業費	70百万円(国費:35百万円)
内容	<p>刈谷駅南地区第一種市街地再開発事業で整備している公益駐車場は地区の南東角に位置し、周辺には刈谷青果市場、病院、民家等が密集している。本駐車場の工事用の進入出路は刈谷市の主要幹線である市道高須線としていることから、工事に伴う通行規制や建設工事に伴う騒音、振動など問題について周辺住民にご理解をいただきながら事業を進めているところです。</p> <p>このため、本推進費を充当して工事進捗を早めることで周辺住民の負担を軽減するとともに、市街地の再開発等を通じて商業活動の活性化や街なか居住の推進を図るものです。</p>



【事例②】国土形成事業調整費(事業推進の部)

広域地方計画区域において実施される全国計画に基づいて実施される事業

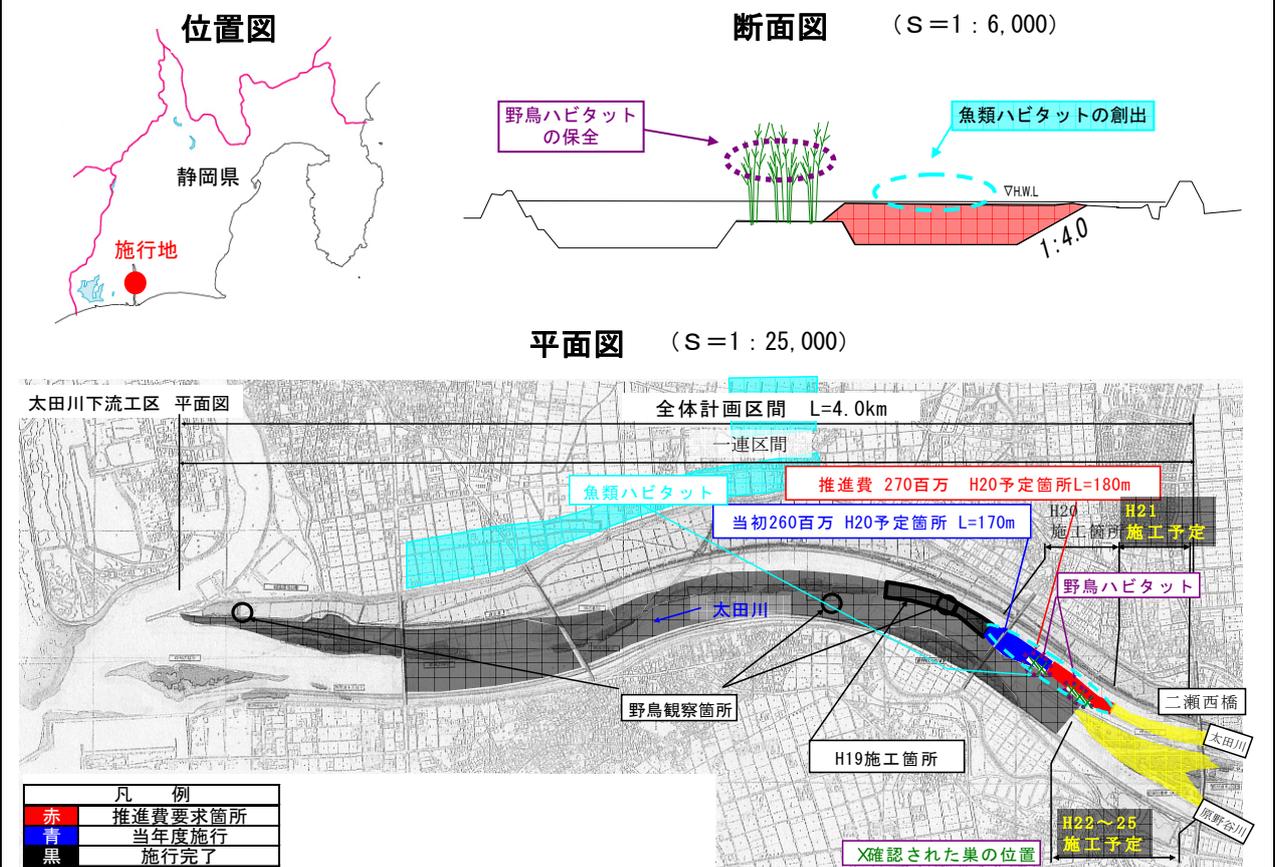
事業名	河川改修事業(木曾川水系木曾川)
施行地	愛知県 <small>あいさい たつた</small> 愛西市 立田地先
事業費	123百万円(国費:82百万円)
内容	<p>木曾川を含めた木曾三川沿川は、我が国最大のゼロメートル地帯であり、水害及び地震等の災害が発生した場合、甚大な被害が生じる恐れが高い地域である。調整費を充当することにより、堤防高・堤防断面が不足している本地区の築堤を推進し、治水安全度の向上を図る。</p> <p>また、本地区の高水敷は、国営木曾三川公園「東海広場」として平成21年4月にオープンする予定であり、調整費を充当することにより、公園のオープンに合わせた河川整備が可能となる。</p>



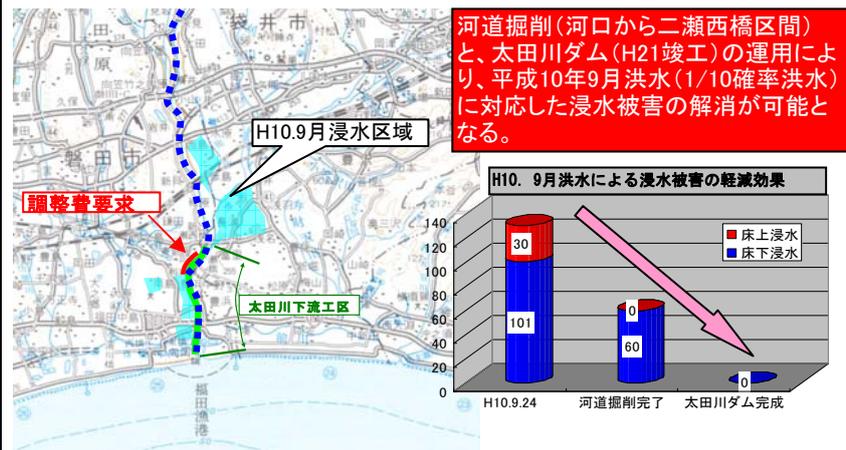
【事例③】国土形成事業調整費(事業推進の部)

広域地方計画区域において実施される全国計画に基づいて実施される事業

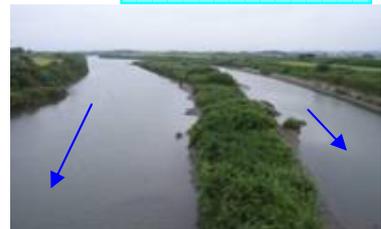
事業名	河川改修事業(太田川水系太田川)
施行地	しずおかけん いわたし とよはまちさき 静岡県 磐田市 豊浜地先
事業費	270百万円(国費:135百万円)
内容	太田川水系太田川の治水対策のため、太田川ダム建設事業と併せて、河道掘削による河川改修事業を推進しているところであるが、河道掘削予定箇所に貴重種(野鳥)の生息が確認されたため工事を見合わせていた。精査の結果、野鳥ハビタットを保全する形状での河道掘削が可能となった。 調整費投入による計画的な河道掘削の推進と、太田川ダムの平成21年度竣工により、平成21年度末に治水安全度1/10の確保が可能となる。



事業効果



魚類ハビタットイメージ (近隣別河川の実施例)



【事例④】国土形成事業調整費(事業推進の部)

広域地方計画区域において実施される全国計画に基づいて実施される事業

事業名	交通円滑化事業 一般国道302号 <small>なごや かんじょう ごうせん とうぶ とうなんぶ</small> 名古屋環状2号線(東部・東南部)
施行地	<small>あいちけん なごや してんぱくくわめがおか</small> 愛知県名古屋市天白区梅ヶ丘地先
内容	名古屋市と豊田市を結ぶ主要幹線道路である国道153号と国道302号との交差点は立体交差を計画し、工事施工中であるが、現在 平面交差で供用しているために慢性的な渋滞を引き起こしており、その結果 周辺地域の生活道路内へ渋滞を避けた交通車両が流入している状況である。平成21年度から、当該地区に新たに「植田東小学校」が開校するため、学区内の交通安全のために早期に当該交差点の渋滞解消を図り、周辺地域への交通流入を防ぐため、本年度 立体化完了を図る。

【概要図】

